

「連続ドラマW 災」が第42回 ATP賞テレビグランプリにおいて、ドラマ部門 最優秀賞を受賞



株式会社WOWOW（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 山本 均、以下「WOWOW」）が制作し、放送・配信した「連続ドラマW 災」が、第42回 ATP賞テレビグランプリにおいて、ドラマ部門 最優秀賞を受賞しました。

ATP賞テレビグランプリは、1984年にATP（一般社団法人全日本テレビ番組製作社連盟）によって創設された賞で、制作会社の社会的機能を高め、制作スタッフ一人ひとりの情熱や気概に応えることを目的としています。創り手である制作会社のプロデューサーやディレクターが自ら審査委員となって優れた作品を選ぶ日本で唯一の賞です。ドラマ部門、ドキュメンタリー部門、情報・バラエティ部門の3つのジャンルで作品を募集し、毎年200本近い応募作品の中から、グランプリ、最優秀賞、優秀賞などが選出されます。

当社番組が、ATP賞テレビグランプリにおいて受賞するのは、第40回ATP賞テレビグランプリ ドラマ部門 優秀賞を受賞した「連続ドラマW フェンス」以来となります。

■「連続ドラマW 災」(全6話) 概要

初回放送・配信

2025年4月6日(日) 午後10:00～[WOWOWプライム][WOWOWオンデマンド]

WOWOWオンデマンド

配信中

<https://wod.wowow.co.jp/program/202450>

番組内容

<イントロダクション>

3年ぶりのドラマ出演となる香川照之を主演に迎えて送る完全オリジナルのサイコ・サスペンス。物語は現代を生きる罪なき6人を中心に紡がれる。しかし気が付くと、それぞれの物語にはある"男"が紛れ込んでいる。そして、それぞれの人生には無慈悲にも"災い"が訪れる。"男"は一体何者なのか?"災い"とはなんなのか?

香川が演じるのは、人に"災い"をもたらすある"男"。姿を変え、口調を変え、顔つきを変え、性格や所作まで変えて、まったくの別人となって6人の登場人物たちの前に現われる。1作品で8役というドラマ史上前代未聞の怪演に注目。共演者には、近年、俳優として目覚ましい活躍を見せる中村アン。彼女が演じるのは、神奈川県警捜査一課の刑事・堂本翠。彼女は管轄内で起きた不可解な自殺事件をきっかけに、その死の周囲に潜む不穏な何者かの存在を感じ始める――。そのほかにも松田龍平、じろう(シソンヌ)、中島セナ、内田慈、藤原季節、坂井真紀、宮近海斗、竹原ピストルと豪華俳優陣が集結した。監督・脚本を務めるのは、世界で注目を集める監督集団「5月」の関友太郎と平瀬謙太郎。過去のサスペンスドラマとは一線を画した、異色の「連続ドラマ」。

<スタッフ・キャスト>

出演：香川照之

中村アン 竹原ピストル 宮近海斗

松田龍平 じろう(シソンヌ) 中島セナ 内田慈 藤原季節 坂井真紀 ほか

監督・脚本・編集：関友太郎、平瀬謙太郎

音楽：加藤賢二、豊田真之

音楽プロデューサー：菊地智敦

チーフプロデューサー：西憲彦

プロデューサー：高江洲義貴、日枝広道、伊藤太一、近藤あゆみ

原案：5月

制作プロダクション：AOI Pro.

制作協力：電通

製作著作：WOWOW

番組ロゴ参考資料：『字通』(平凡社刊)

以上

報道関連・IR関連のお問い合わせ

経営管理局 広報・IR部 TEL:03-4330-8080

E-mail:corp.support@wowow.co.jp

コーポレートサイト:<https://corporate.wowow.co.jp>

SNS(X):https://x.com/WOWOW_Inc